

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月30日

上場会社名 鳥居薬品株式会社
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-3231-6811

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	29,052	—	4,632	—	4,917	—	3,313	—
20年3月期第3四半期	32,179	3.2	5,018	7.9	5,250	8.3	2,853	7.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	117.05	—
20年3月期第3四半期	100.81	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	79,543	—	71,899	—	90.4	—	2,540.29	—
20年3月期	80,439	—	69,759	—	86.7	—	2,464.58	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 71,899百万円 20年3月期 69,759百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
21年3月期	—	15.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,700	△10.1	4,200	△18.3	4,500	△18.1	2,900	△2.3	102.46

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期 28,800,000株	20年3月期 28,800,000株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期 496,470株	20年3月期 495,393株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年3月期第3四半期 28,304,267株	20年3月期第3四半期 28,305,110株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。
 なお、現時点において、実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 特定の製品への高い依存度
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の売上高は、29,052百万円と前年同期に比べ9.7%減少しました。

主な減少要因は、株式会社ミノファーゲン製薬（以下、「ミノファーゲン社」との取引基本契約の段階的終了に伴い、「強力ネオミノファーゲンシー（肝臓疾患用剤・アレルギー用薬）」を前事業年度末に、「グリチロン錠（肝臓疾患用剤・アレルギー用薬）」を第2四半期会計期間末に販売終了したことによるものです。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、4月に実施された薬価改定（業界平均5.2%の引き下げ）の影響を受ける中、「注射用フサン（蛋白分解酵素阻害剤）」は後発医薬品の使用促進策の影響もあり前年同期比17.4%減となりましたが、「ツルバダ錠（抗HIV薬）」は前年同期比61.5%増と伸長し、当社の得意とする皮膚疾患領域におきましても「ドボネックス軟膏（尋常性乾癬治療剤）」はアステラス製薬株式会社が前第3四半期会計期間末をもって共同販売を終了したこと等により前年同期比375.3%増、「ゼフナート（外用抗真菌薬）」は前第2四半期会計期間から追加剤型の販売を開始したことにより前年同期比32.2%増、「アンテベート（外用副腎皮質ホルモン剤）」も前年同期比3.6%増とそれぞれ伸長しました。

当第3四半期累計期間の利益面につきましては、売上原価が10,534百万円と前年同期に比べ16.3%減少し、また、販売費及び一般管理費は研究開発費が減少したこと等により13,884百万円と前年同期に比べ4.8%減少したことから、営業利益は4,632百万円（前年同期比7.7%減）、経常利益は4,917百万円（前年同期比6.3%減）となりました。四半期純利益はミノファーゲン社との取引基本契約の段階的終了に伴う一時金収入を特別利益に計上したこと等により3,313百万円（前年同期比16.1%増）となりました。

なお、「前年同期比増減率」につきましては、参考として記載しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、79,543百万円と前事業年度末に比べ895百万円（1.1%）減少しました。これは、流動資産は有価証券が1,795百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金が881百万円増加し、現金及び預金が357百万円減少したこと等により2,353百万円増加しましたが、有形固定資産は489百万円、無形固定資産は183百万円、投資その他の資産は2,575百万円それぞれ減少したことによるものです。

総負債は、7,644百万円と前事業年度末に比べ3,035百万円（28.4%）減少しました。これは、買掛金が1,405百万円、未払法人税等が1,121百万円、賞与引当金が500百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、71,899百万円と前事業年度末に比べ2,140百万円（3.1%）増加しました。これは、利益剰余金は2,407百万円増加し、その他有価証券評価差額金が265百万円減少したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、41,060百万円と前事業年度末に比べ1,571百万円（4.0%）増加しました。

当第3四半期累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税引前四半期純利益が5,707百万円となりましたが、仕入債務の減少額が1,405百万円、法人税等の支払額が2,640百万円となったこと等により2,056百万円の収入となりました。

当第3四半期累計期間における「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有価証券の償還による収入が893百万円、投資有価証券の償還による収入が1,001百万円、有形固定資産の売却による収入が490百万円ありましたが、有価証券の取得による支出が996百万円、投資有価証券の取得による支出が299百万円、有形固定資産の取得による支出が771百万円となったこと等により421百万円の収入となりました。

当第3四半期累計期間における「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、配当金の支払額が905百万円となったことにより907百万円の支出となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、前回発表(平成20年10月30日「平成21年3月期第2四半期決算短信(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

② 有形固定資産の耐用年数の変更

機械及び装置については、従来、7年を耐用年数としておりましたが、平成20年度税制改正を契機として経済耐用年数を見直した結果、第1四半期会計期間より8年に変更しております。

なお、この変更により、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ33百万円増加しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,727	6,085
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	31,841	30,959
受取手形及び売掛金	15,251	15,308
有価証券	5,190	3,394
商品	1,005	1,256
製品	1,075	984
原材料	1,013	1,018
仕掛品	405	561
その他	1,301	890
流動資産合計	62,812	60,458
固定資産		
有形固定資産	6,349	6,839
無形固定資産	724	908
投資その他の資産	9,656	12,232
固定資産合計	16,731	19,980
資産合計	79,543	80,439
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,053	4,458
未払法人税等	371	1,492
賞与引当金	584	1,085
役員賞与引当金	23	31
返品調整引当金	3	3
その他	2,505	2,578
流動負債合計	6,542	9,649
固定負債		
退職給付引当金	652	598
その他	449	431
固定負債合計	1,102	1,030
負債合計	7,644	10,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	60,946	58,538
自己株式	△854	△852
株主資本合計	71,698	69,292
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	201	466
評価・換算差額等合計	201	466
純資産合計	71,899	69,759
負債純資産合計	79,543	80,439

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	29,052
売上原価	10,534
売上総利益	18,517
販売費及び一般管理費	
販売促進費	2,467
給料及び手当	4,186
賞与引当金繰入額	482
研究開発費	712
その他	6,035
販売費及び一般管理費合計	13,884
営業利益	4,632
営業外収益	
受取利息	230
受取配当金	25
為替差益	4
その他	28
営業外収益合計	288
営業外費用	
その他	4
営業外費用合計	4
経常利益	4,917
特別利益	
固定資産売却益	2
取引契約終了一時金	800
残余財産分配金	103
特別利益合計	906
特別損失	
固定資産除却損	20
ゴルフ会員権評価損	12
減損損失	83
特別損失合計	115
税引前四半期純利益	5,707
法人税等	2,394
四半期純利益	3,313

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	5,707
減価償却費	973
減損損失	83
受取利息及び受取配当金	△255
残余財産分配金	△103
固定資産除売却損益(△は益)	17
ゴルフ会員権評価損	12
売上債権の増減額(△は増加)	57
たな卸資産の増減額(△は増加)	318
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,405
未払金の増減額(△は減少)	△314
その他	△660
小計	4,429
利息及び配当金の受取額	267
法人税等の支払額	△2,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,056
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	50
有価証券の取得による支出	△996
有価証券の売却及び償還による収入	893
有形固定資産の取得による支出	△771
有形固定資産の売却による収入	490
無形固定資産の取得による支出	△71
投資有価証券の取得による支出	△299
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,001
残余財産の分配による収入	126
その他	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	421
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△1
配当金の支払額	△905
財務活動によるキャッシュ・フロー	△907
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,571
現金及び現金同等物の期首残高	39,489
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,060

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)
該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期損益計算書

区 分	前第3 四半期 〔自平成19年4月1日 至平成19年12月31日〕
	金額
	百万円
I 売上高	
1 製商品売上高	31,958
2 不動産賃貸収入	220
計	32,179
II 売上原価	
1 製商品売上原価	12,533
2 不動産賃貸原価	49
計	12,582
売上総利益	19,596
返品調整引当金戻入額	4
返品調整引当金繰入額	3
差引売上総利益	19,596
III 販売費及び一般管理費	14,578
営業利益	5,018
IV 営業外収益	
1 受取利息	155
2 有価証券利息	50
3 受取配当金	24
4 その他	49
計	281
V 営業外費用	
1 たな卸資産廃棄損失	36
2 その他	12
計	48
経常利益	5,250
VI 特別利益	—
VII 特別損失	
1 その他	29
計	29
税引前四半期純利益	5,220
法人税、住民税及び事業税	2,367
法人税等調整額	—
四半期純利益	2,853

(要約) 前四半期キャッシュ・フロー計算書

区 分	前第3四半期 〔自平成19年4月1日 至平成19年12月31日〕
	金額
	百万円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税引前四半期純利益	5,220
2 減価償却費	866
3 受取利息、有価証券利息及び受取配当金	△231
4 売上債権の増減額(増加:△)	△1,992
5 たな卸資産の増減額(増加:△)	60
6 仕入債務の増減額(減少:△)	563
7 未払金の増減額(減少:△)	△196
8 その他	308
小計	4,598
9 利息及び配当金の受取額	235
10 法人税等の支払額	△2,542
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,291
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の預入による支出	△50
2 定期預金の払戻による収入	2,050
3 有価証券の売却及び償還による収入	697
4 有形固定資産の取得による支出	△705
5 無形固定資産の取得による支出	△112
6 投資有価証券の取得による支出	△1,398
7 投資有価証券の売却及び償還による収入	293
8 その他	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	777
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 自己株式の取得による支出	△1
2 配当金の支払額	△735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△737
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	2,330
VI 現金及び現金同等物の期首残高	36,073
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	38,404



2009年3月期 第3四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移			III. 財政の状況	
1. 経営成績	P.1	1. 四半期貸借対照表 P.5,6
2. 財政状態	P.1	2. 四半期キャッシュ・フロー計算書 P.7
II. 損益の状況			IV. 設備投資の状況 P.8
1. 四半期損益計算書	P.2		
2. 製商品売上高	P.3		
3. 売上原価	P.4		
4. 減価償却費	P.4		
5. 研究開発費	P.4	【予想数値に関する注意事項】 P.8

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てして表示しております。

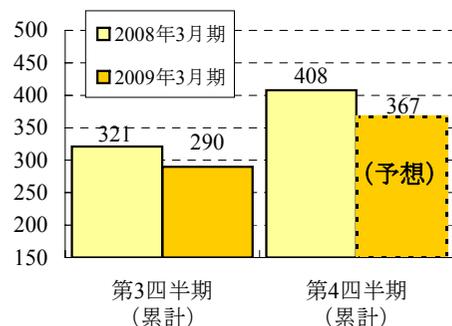
2009年1月30日

I. 主な経営指標等の推移

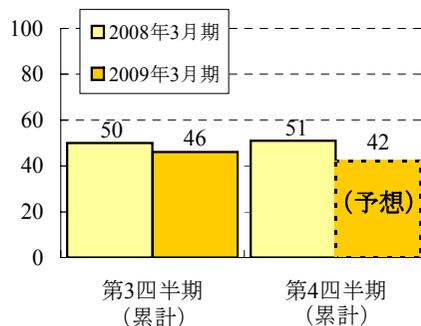
1. 経営成績

	2008年3月期				2009年3月期			2009年3月期予想	
	第1四半期	第2四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	第4四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)		対前期増減(率:%)	
売上高	10,325	20,434	32,179	40,845	29,052	△ 3,126	(△ 9.7)	36,700	△ 4,145 (△ 10.1)
営業利益	1,734	2,346	5,018	5,139	4,632	△ 385	(△ 7.7)	4,200	△ 939 (△ 18.3)
経常利益	1,796	2,467	5,250	5,496	4,917	△ 333	(△ 6.3)	4,500	△ 996 (△ 18.1)
四半期(当期)純利益	988	1,356	2,853	2,967	3,313	459	(16.1)	2,900	△ 67 (△ 2.3)
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	34.93	47.91	100.81	104.83	117.05	16.24	(16.1)	102.46	△ 2.37 (△ 2.3)
自己資本四半期(当期)純利益率 (%)	1.5	2.0	4.2	4.3	4.7	0.5		—	—
総資産経常利益率 (%)	2.3	3.1	6.7	7.0	6.1	△ 0.6		—	—
売上高営業利益率 (%)	16.8	11.5	15.6	12.6	15.9	0.3		—	—

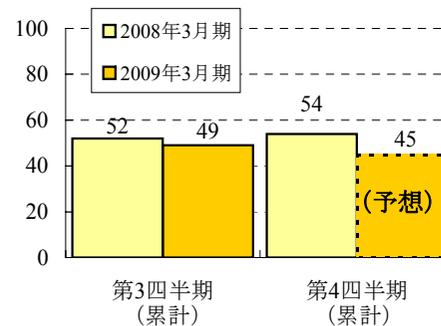
売上高(億円)



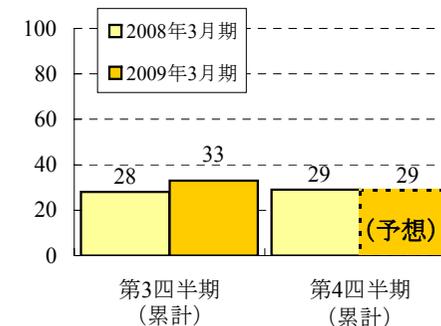
営業利益(億円)



経常利益(億円)



四半期(当期)純利益(億円)



2. 財政状態

	2008年3月期				2009年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第3四半期	対前期末増減(率:%)
総資産	77,093	79,365	79,737	80,439	79,543	△ 895 (△ 1.1)
純資産	68,156	68,483	69,603	69,759	71,899	2,140 (3.1)
自己資本比率 (%)	88.4	86.3	87.3	86.7	90.4	3.7
1株当たり純資産 (円)	2,407.90	2,419.48	2,459.08	2,464.58	2,540.29	75.71 (3.1)

II. 損益の状況

1. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

	2008年3月期 第3四半期 (累計)	2009年3月期		2008年 3月期	対前年同期増減要因
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)		
売上高	32,179	29,052	△ 3,126 (△ 9.7)	40,845	【製商品売上高】 《増加要因》・ツルバダ錠、ドボネックス軟膏等の伸長 《減少要因》・強力ネオミノファーゲンシーの販売終了、注射用フサン等の減少
製商品売上高	31,958	28,827	△ 3,131 (△ 9.8)	40,550	
不動産賃貸収入	220	225	4 (1.9)	294	
売上原価	12,582	10,534	△ 2,047 (△ 16.3)	16,249	【製商品売上原価】 《減少要因》・売上高の減少等
製商品売上原価(注)	12,532	10,481	△ 2,050 (△ 16.4)	16,182	
不動産賃貸原価	49	53	3 (6.6)	66	
売上総利益	19,596	18,517	△ 1,079 (△ 5.5)	24,595	【販売費及び一般管理費】 《減少要因》・研究開発費の減少等
販売費及び一般管理費	14,578	13,884	△ 693 (△ 4.8)	19,455	
営業利益	5,018	4,632	△ 385 (△ 7.7)	5,139	【特別利益】 《増加要因》・(株)ミノファーゲン製薬との取引基本契約の段階的終了 に伴う一時金等
営業外収益	281	288	7 (2.8)	414	
営業外費用	48	4	△ 44 (△ 90.7)	56	
経常利益	5,250	4,917	△ 333 (△ 6.3)	5,496	
特別利益	—	906	906	—	
特別損失	29	115	85 (286.3)	118	
税引前四半期(当期)純利益	5,220	5,707	486 (9.3)	5,378	
法人税等	2,367	2,394	27 (1.2)	2,411	
四半期(当期)純利益	2,853	3,313	459 (16.1)	2,967	

(注) 従来、区分掲記しておりました「返品調整引当金戻入額」及び「返品調整引当金繰入額」は、金額的重要性が乏しいため当事業年度より「製商品売上原価」に含めて記載しております。なお、前期の数値につきましても同様に組み替えて記載しております。

2. 製商品売上高

(単位:百万円)

品名	2008年3月期 第3四半期 (累計)	2009年3月期	
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)
注射用フサン ※	9,045	7,473	△ 1,572 (△ 17.4)
アンテベート ※	4,185	4,338	152 (3.6)
ツルバダ錠	2,012	3,250	1,238 (61.5)
ユリノーム錠 ※	2,890	2,831	△ 58 (△ 2.0)
ウブレチド錠 ※	1,605	1,533	△ 72 (△ 4.5)
ゼフナート	841	1,111	270 (32.2)
ドボネックス軟膏	230	1,093	863 (375.3)
ビオスリー	894	977	83 (9.4)
ロコイド ※	908	922	14 (1.6)
セロトーン	904	865	△ 38 (△ 4.2)
グリチロン錠(注2)	1,034	611	△ 423 (△ 40.9)
強力ネオミノファーゲンシー (注2)	3,579	△ 14	△ 3,593 (△ 100.4)
その他	3,826	3,830	4 (0.1)
計	31,958	28,827	△ 3,131 (△ 9.8)

(単位:百万円)

2008年 3月期	2009年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	対前期増減(率:%)
11,060	9,210	△ 1,850 (△ 16.7)
5,351	5,640	288 (5.4)
2,732	4,160	1,427 (52.2)
3,653	3,640	△ 13 (△ 0.4)
2,030	1,970	△ 60 (△ 3.0)
993	1,250	256 (25.8)
465	1,560	1,094 (235.4)
1,181	1,230	48 (4.1)
1,172	1,220	47 (4.1)
1,147	1,090	△ 57 (△ 5.0)
1,303	610	△ 693 (△ 53.2)
4,453	—	△ 4,453 (△ 100.0)
5,004	4,870	△ 134 (△ 2.7)
40,550	36,450	△ 4,100 (△ 10.1)

(注1) 自社品には、品名に※を付しております。

(注2) 株式会社ミノファーゲン製薬との取引基本契約の合意解約により「強力ネオミノファーゲンシー」は2008年3月末に、「グリチロン錠」は2008年9月末に販売を終了しております。

【参考】 自社品売上高	19,917	18,454	△ 1,463 (△ 7.3)
自社品比率(%)	62.3	64.0	1.7 —

24,968	23,420	△ 1,548 (△ 6.2)
61.6	64.3	2.7 —

3. 売上原価

(単位:百万円)

	2008年3月期 第3四半期 (累計)	2009年3月期	
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)
売上高	32,179	29,052	△ 3,126 (△ 9.7)
売上原価	12,582	10,534	△ 2,047 (△ 16.3)
売上原価率(%)	39.1	36.3	△ 2.8 —

(単位:百万円)

2008年 3月期	2009年3月期予想	
		対前期増減(率:%)
40,845	36,700	△ 4,145 (△ 10.1)
16,249	13,500	△ 2,749 (△ 16.9)
39.8	36.8	△ 3.0 —

4. 減価償却費

(単位:百万円)

	2008年3月期 第3四半期 (累計)	2009年3月期	
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)
不動産賃貸原価	25	28	2 (11.1)
販売費及び一般管理費	311	311	△ 0 (△ 0.0)
製造費用	528	632	104 (19.7)
計	866	973	107 (12.4)

(単位:百万円)

2008年 3月期	2009年3月期予想	
		対前期増減(率:%)
34	38	4 (12.2)
419	435	15 (3.8)
766	878	112 (14.7)
1,220	1,352	132 (10.9)

5. 研究開発費

(単位:百万円)

	2008年3月期 第3四半期 (累計)	2009年3月期	
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)
研究開発費	1,296	712	△ 584 (△ 45.1)

(単位:百万円)

2008年 3月期	2009年3月期予想	
		対前期増減(率:%)
1,828	1,257	△ 571 (△ 31.3)

(注) 当社は、親会社であるJTとの研究開発に係る機能分担において、主として既存品の剤形改良や追加効能等の機能を担うとともに、当社の得意とする領域の開発に参画しております。

Ⅲ. 財政の状況

1. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	2008年 3月期	2009年3月期 第3四半期		2008年 3月期 第3四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率:%)		
(資産の部)					
流動資産	60,458	62,812	2,353 (3.9)	60,657	
現金及び預金	6,085	5,727	△ 357	6,714	
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金(注)	30,959	31,841	881	29,245	
受取手形及び売掛金	15,308	15,251	△ 57	17,055	
有価証券	3,394	5,190	1,795	3,394	【有価証券】 《増加要因》・金融商品の取得等
たな卸資産	3,903	3,585	△ 318	3,507	
その他	807	1,217	409	740	
固定資産	19,980	16,731	△ 3,248 (△ 16.3)	19,079	
有形固定資産	6,839	6,349	△ 489 (△ 7.2)	6,775	
建物	3,658	3,550	△ 107	3,702	
機械及び装置	1,589	1,634	45	1,356	
土地	1,189	702	△ 486	1,189	【土地】 《減少要因》・旧土気研究所跡地の売却
その他	402	462	59	527	
無形固定資産	908	724	△ 183 (△ 20.2)	947	
投資その他の資産	12,232	9,656	△ 2,575 (△ 21.1)	11,356	
投資有価証券	4,565	2,694	△ 1,870	5,046	【投資有価証券】 《減少要因》・金融商品の償還等
その他	7,698	6,993	△ 704	6,340	【その他】 《減少要因》・繰延税金資産(旧土気研究所跡地評価損)の減少等
貸倒引当金	△ 31	△ 31	△ 0	△ 31	
資産合計	80,439	79,543	△ 895 (△ 1.1)	79,737	

(注) キャッシュ・マネージメント・システムとは、JTグループにおける国内グループ会社を対象とした資金の一元管理を目的とするシステムです。

(単位:百万円)

	2008年 3月期	2009年3月期 第3四半期		2008年 3月期 第3四半期
			対前期末増減(率:%)	
(負債の部)				
流動負債	9,649	6,542	△ 3,107 (△ 32.2)	9,068
買掛金	4,458	3,053	△ 1,405	4,704
未払法人税等	1,492	371	△ 1,121	1,174
賞与引当金	1,085	584	△ 500	574
返品調整引当金	3	3	0	3
その他	2,609	2,529	△ 80	2,612
固定負債	1,030	1,102	71 (7.0)	1,064
退職給付引当金	598	652	53	633
預り敷金保証金	339	364	24	339
長期未払金	92	85	△ 6	92
負債合計	10,679	7,644	△ 3,035 (△ 28.4)	10,133
(純資産の部)				
株主資本	69,292	71,698	2,405 (3.5)	69,178
資本金	5,190	5,190	— (—)	5,190
資本剰余金	6,416	6,416	— (—)	6,416
資本準備金	6,416	6,416	—	6,416
利益剰余金	58,538	60,946	2,407 (4.1)	58,425
利益準備金	1,297	1,297	—	1,297
その他利益剰余金				
特別償却準備金	10	9	△ 1	3
別途積立金	54,230	56,230	2,000	54,230
繰越利益剰余金	3,000	3,409	408	2,893
自己株式	△ 852	△ 854	△ 1 (0.2)	△ 852
評価・換算差額等	466	201	△ 265 (△ 56.9)	424
その他有価証券評価差額金	466	201	△ 265 (△ 56.9)	424
純資産合計	69,759	71,899	2,140 (3.1)	69,603
負債・純資産合計	80,439	79,543	△ 895 (△ 1.1)	79,737

対前期末増減要因

【買掛金】
《減少要因》・強力ネオミノファーゲンシーの販売終了に伴う
商品仕入の減少

【その他有価証券評価差額金】
《減少要因》・時価評価益の減少

2. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2008年3月期 第3四半期 (累計)	2009年3月期		2008年 3月期	対前年同期増減要因
		第3四半期 (累計)	対前年 同期増減		
税引前四半期(当期)純利益	5,220	5,707	486	5,378	
減価償却費	866	973	107	1,220	
受取利息及び受取配当金	△ 231	△ 255	△ 24	△ 306	
残余財産分配金	—	△ 103	△ 103	—	
売上債権の増減額(△は増加)	△ 1,992	57	2,049	△ 245	【売上債権の増減額】 《増加要因》・強力ネオミノファーゲンシーの販売終了に伴う 売掛金の減少
たな卸資産の増減額(△は増加)	60	318	258	△ 335	
仕入債務の増減額(△は減少)	563	△ 1,405	△ 1,968	317	【仕入債務の増減額】 《減少要因》・強力ネオミノファーゲンシーの販売終了に伴う 買掛金の減少
利息及び配当金の受取額	235	267	32	304	
法人税等の支払額	△ 2,542	△ 2,640	△ 97	△ 2,654	
その他	112	△ 861	△ 973	△ 347	【その他】 《減少要因》・未収入金の増加等
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,291	2,056	△ 234	3,332	
定期預金の預入による支出	△ 50	—	50	△ 100	
定期預金の払戻による収入	2,050	50	△ 2,000	2,100	
有価証券の取得による支出	—	△ 996	△ 996	—	
有価証券の売却及び償還による収入	697	893	195	697	
有形固定資産の取得による支出	△ 705	△ 771	△ 66	△ 1,185	
有形固定資産の売却による収入	—	490	490	2	
無形固定資産の取得による支出	△ 112	△ 71	40	△ 139	
投資有価証券の取得による支出	△ 1,398	△ 299	1,099	△ 1,398	
投資有価証券の売却及び償還による収入	293	1,001	708	845	
残余財産の分配による収入	—	126	126	—	
その他	1	△ 2	△ 4	△ 1	
投資活動によるキャッシュ・フロー	777	421	△ 355	821	
自己株式の取得による支出	△ 1	△ 1	△ 0	△ 1	
配当金の支払額	△ 735	△ 905	△ 169	△ 735	【配当金の支払額】 《減少要因》・期末配当金の増加
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 737	△ 907	△ 169	△ 737	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—	—	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,330	1,571	△ 759	3,416	
現金及び現金同等物の期首残高	36,073	39,489	3,416	36,073	
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	38,404	41,060	2,656	39,489	

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金(預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券(取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く)からなっております。

IV. 設備投資の状況

(単位:百万円)

	2008年3月期 第3四半期 (累計)	2009年3月期	
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率:%)
有形固定資産	978	746	△ 232 (△ 23.7)
無形固定資産	77	61	△ 16 (△ 21.7)
計	1,056	807	△ 249 (△ 23.6)

(単位:百万円)

2008年 3月期	2009年3月期予想	
		対前期増減(率:%)
1,330	958	△ 371 (△ 27.9)
119	145	26 (22.1)
1,449	1,104	△ 345 (△ 23.8)

(注1) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主に製品品質・生産性の向上を目的とする佐倉工場の製造設備への投資であります。

(注2) 当期の無形固定資産に係る設備投資は、営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とする情報システムへの投資であります。

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 特定の製品への高い依存度
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク